#### 2025/8/5 産業振興会議

# 令和7年度事業の進捗状況について

(1)	商工業分野	••••• P 1
(2)	農林業分野	••••• P 5
(3)	観光物産分野	P7

## (1) 商工業分野

#### 1. 産学官連携

#### ① 岩手県立大学 キャリアデザイン I

ソフトウェア情報学部2年生を対象としたキャリアデザインI授業の中で、IPUイノベーションセンター・パーク企業の社員が、業務内容

や自社でのやりがい等を説明し、オフィスや 普段入ることのできない研究室を案内する ことで学生に専門性の高い地元企業の魅力 を知ってもらう機会となりました。

期間 5月27日(火)~7月1日(火)

参加 170名



#### ② インターンシップ型連携授業

ソフトウェア情報学部3年生およびソフトウェア 情報学研究科生を対象に企業が講師を務める5日 間の集中講座を開講します。

今年度は、イノベーションセンター・パーク企業 6社がインターンシップを受け入れ、実践IT人材 育成や若者の地域定着を目指します。

期間 8月18日(月)~22日(金)

参加 32名(予定)

#### ③ イノベCafé (地域活性化起業人事業)

滝沢市地域活性化起業人が岩手県立大学の研究・地域連携センターと協働し、企業と教員、学生が和やかな雰囲気の中で情報や意見を交換するサロン形式の交流の場を設けます。

お昼休み時間を活用し、各学部教員のプレゼンテーションを聞き、ランチや飲み物を楽しみながら交流することで、新たな関係性の構築、共同研究等につながることを目指します。

・第1回 日時 9月25日(木) 12:10~12:50 場所 イノベーションセンター

### 2. 市内商工業者の振興

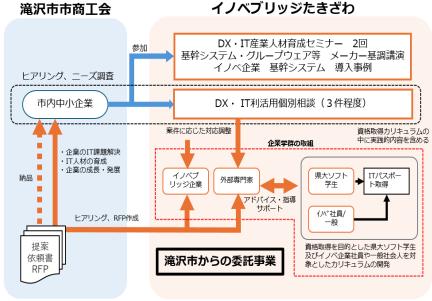
### ① IT産業人材育成モデル構築事業

岩手県立大学及びイノベーションセンター・パークのIT関連企業が、 市内中小企業のDXに関連した課題解決の支援を通して、IT産業人材を育成するとともに、支援するIT企業や県立大学生の人材育成も実施します。

・IT産業人材育成セミナー

(2回開催、定員 30名

・個別支援 3社



## ② チャグジョブ滝沢2025

市内事業者への理解を深めるとともに、次世代の若者の地元定着に資するため、市内小学生を対象とした職業体験イベントを、滝沢市、滝沢市商工会と滝沢市商工会青年部が共同開催する予定です。

開催日 11月2日(日) 開催場所 滝沢総合体育館







## 3. 若者活躍の場づくり推進事業

#### ① たきざわ若者交流事業

首都圏において、滝沢市出身者、盛岡大学及び岩手県立大学卒業生等の滝沢市にゆかりのある方、滝沢市に興味関心のある首都圏在住者等を対象に、若手人材の交流会を開催することにより、市とのネットワークを作りひいては将来の移住定住へと繋げることを目指します。





令和6年度 たきざわ×わかものTALK CAFÉ in 東京

#### ② 若者活躍応援補助金

若者世代の柔軟で斬新な発想により、 社会活動へチャレンジする若者を応援す ることを目的とした補助金制度を開始し ました。

この補助金は、16歳から29歳の若者や若者団体が、滝沢市をフィールドに市のまちづくりや地域の課題解決等、「若者がやりたいこと」を実現するために補助をするものです。

また、事業の実現を支援する育成者も補助対象となります。

補助金限度額 15万円(10分の10)



### 4. 大学未来共創事業

### ① 滝沢ミライプロジェクト2025

若者が地域の方々とつながり、滝沢市へ愛着をもち、自らの視点を取り入れ活躍する場を創出するため、大学生と高校生を対象とした「若者と地域をつなぐプレゼンイベント」を開催します。

開催期間 10月~3月





#### ② 学生人材育成事業

「滝沢ミライプロジェクト」につながる 取り組みとして、学生がアイディアを形に する方法を実践的に学ぶことができる「タ キザワチャレンジキャンプ」を実施してい ます。

このイベントで、実践的な学びと、想いを共有できる仲間との出会いの機会を提供することにより、学生が「やってみたい」を形にする力を育成することを目指します。

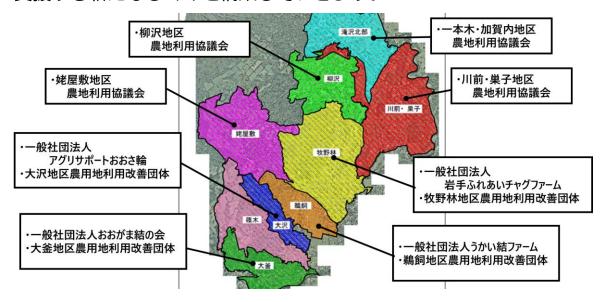
- ・第1回 初回講座 月日 7月19日(土) 場所 第2イノベーションセンター
- ・第2回 合宿講座月日 8月2日(土)~3日(日)場所 岩手山青少年交流の家



# (3)農林業分野

#### 1. 地域・組織の取組を支援する新たなしくみの構築

滝沢市では、R3~R6に市内10箇所で実施した農地中間管理事業の中で、各地域で地域農業の話し合いの母体となる組織(農用地利用改善団体、一般社団法人、農地利用協議会)が設立されました。今後は、R6に市が策定した「地域計画」に沿った各地域の将来像を実現していくため、課題解決に向けた話し合いを深めるとともに、各組織の取組を支援する新たなしくみを構築していきます。



### ① 滝沢市農地を守る法人等連絡会議

6月11日にビッグルーフ滝沢大ホールで「滝沢市農地を守る法人等連絡会議」を開催し、各地域の組織や関係団体等約60名が参加しました。

この連絡会議は、地域を越えて連携することを目的にR5から開催しています。

今回は、各地域の取組や課題の発表のほか、「滝沢市農業産出額全国1位になるためには?!」をテーマとしてグループ討議を行い、各グループから様々なアイディアが出され、盛り上がりました。





グループ討議

### 2. 農業との触れ合いの場の創出

小さなころから農業に触れ合い、職業の1つとして選択肢になるよう、 さまざまな活動を通して農業や食材に触れ合う機会を創出しています。

#### 【スイカ定植体験】

滝沢小学校5年生による、スイカ の定植体験を行いました。

・定植:R7.5.1

・収穫: R7.8下旬予定



#### 【さつまいも定植体験】

元村保育園児による、さつまいも の定植体験を行いました。

・定植:R7.5.23

・収穫:R7.9下旬予定



#### 【農業体験】

市と市グリーン・ツーリズム推進協議会が連携し、中学生を対象に農業体験を行っています。今年度は3校で実施を予定しており、うち1校について実施しました。

#### ○実施学校

・滝沢第二中学校:R7.7.3

・滝沢南中学校 : R7.9. 3予定 ・滝沢中学校 : R7.9.17予定



## (4)観光物産分野

### 1. 観光振興事業

滝沢市内にはチャグチャグ馬コに代表される人文系観光資源、 岩手山や鞍掛山をはじめとする自然系観光資源などがあり、これらを活かしながら、新たな観光資源の創出を目指しています。

#### ① (一社) 滝沢市観光物産協会との連携強化

観光資源の創出を目的に、パートナーである一般社団法人滝沢市観光物産協会との連携・協働により、変化する社会情勢、観光ニーズの高まり、多様化へ対応など市内観光資源を活用した魅力のある観光プランの造成、交流人口増を目指します。

#### 主な連携事業

- チャグチャグ馬コ関連行事の実施(写真撮影会、ふれあいまつり等)
- サイクルツーリズム事業
- ふるさと納税による地域資源振興事業
- 滝沢スイカ、滝沢はるか等の滝沢ブランドを活かした物産展開催

### ② チャグチャグ馬コの保存・継承

みちのくの初夏を彩る伝統行事「チャグ チャグ馬コ」は県内外より多くの観光客が訪れ、本年は市内に約3万人が訪れ市を代表する観光行事となっていますが、馬主団体 「チャグチャグ馬コ同好会」に携わる関係者の高齢化、出馬頭数や行事に使用する装束の確保が課題となっています。

市では課題解決策の一つの手法として、馬 コの継承を目的にふるさと納税制度を活用し たクラウドファンディングを実施し、全国か ら多くの暖かいご寄附をいただきました。

#### 実施内容

寄附受付額:138.8万円(目標額:100万円)

・ 実 施 期 間:4月7日から7月5日まで90日間



馬コのイベント出馬 に合わせ、その場で の寄附受けも行いま した。

### 2. 物產振興事業

滝沢市で生産された農産物、これを原材料とした商品、本市で 製造された商品の販売支援を行うとともに、市の特色を活かした 商品の開発の支援を行い、市への愛着の醸成を図り、併せてPR 活動を強化することで地域産業の活性化を図っています。

### ① 滝沢市特産品開発連絡会

特産品の開発に取組む市内事業 者への持続可能な支援体制として、 滝沢市商工会、滝沢市観光物産協 会及び市で連携し「**滝沢市特産品 開発連絡会**」を組織。

今年度は、新たなお土産品のア イデアコンクールを企画、地域産 品を活用し連携による新たな特産 品開発に向け取組を行います。



連絡会で試食等検討を行い特産品開発振 興事業補助金を活用して完成した 「TAKIZAWA SUIKA JERRY DRINK」

### ② ふるさと納税事業の推進



新規事業者募集中!

今年度は「**新規返礼品100品目 以上増加、寄附受入れ目標額を1億 円**|を方針とし事業を推進します。

- ①市内外の返礼品事業者を開拓、新規税返礼品数を増やします。
  - ・目標返礼品900件
- ②返礼率の柔軟な運用により寄附受入れ額の増加を図ります。
  - ・返礼品毎に返礼率を見直し、競争力の向上を図ります。
- ③中間事業者との連携強化。
  - ・定期的に事務事業進捗について 情報共有を図ります。